



もえぶくろろ

# KOMAKYO だより

小松教育事務所

NO.7  
H.25.2.14

## 学力向上に向けた 教務主任・研究主任の 役割について

年度末になりました。子どもたち一人一人に、今年度の内につけるべき力をしっかりと定着させて、次年度に送る準備を学校全体でされている時期だと思います。

そのために教務主任・研究主任は今、どんなことができるでしょうか。

日々の校務の中で学力向上に向けてさらに今できることを、下記の例を参考に、是非、確認してみてください。

たとえば今の時期にできることを考えてみると・・・

### 管理職

#### 教務主任

##### 短期的視点

##### ○学習時間の工夫

- ・朝や昼の帯タイムや放課後時間の活用の見直し

→ショートタイム・ロングタイムの設定等

##### ○ショートタイム・ロングタイムの4月当初までの計画立案

##### ○春休み課題作成の基本計画作成

##### ○活用問題の精選と準備

各学年に任せず学校として計画的に推進することが大切です！

##### 長期的視点

##### ○次年度の学力向上のための取組の焦点化と年間計画の作成 など

4月当初に提案できるようにしましょう！

#### 研究主任

##### 短期的視点

- 4月の全国学力・学習状況調査、県基礎学力調査までに確認することの洗い出し
- ・弱点の明確化や無解答率の改善等

##### ○学年ごとの活用問題の精選と準備

##### 長期的視点

- 今年度の研究成果と課題の共有をし、今年度掲げてきた「めざす児童・生徒像」に各学級の児童生徒が到達しているか、「めざす授業像」を教師が具現化できているかの検証

##### ○次年度の「めざす児童像」「めざす授業像」の確立とそのため研究体制の立案 など

4月当初に提案できるようにしましょう！

連携

### 学年主任

### 担任・教科担任

できることがいっぱいふえたよ！うれしいな。  
次の学年でもがんばるよ！



年度末です。子どもたちにその学年でつけるべき力がしっかりついているかを確認し、自信をもたせて次の学年に送りましょう！